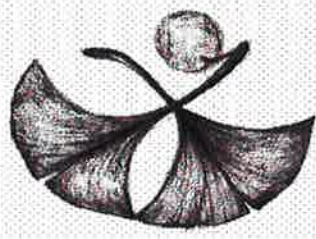


いちよう  
**銀杏**



公民館報「銀杏 いちよう」  
編集 館報編集委員会  
発行 菊田公民館

習志野市津田沼7-9-20  
TEL 047(452)7711

# 菊田の杜で半世紀



菊田公民館サークル連絡協議会全体会にて

## 菊田の杜で半世紀

菊田公民館が本市最初の公民館として昭和四十六年四月に開館して、五十年を迎えることができました。こうして公民館を継続することができましたのも、地域や利用者の皆様のご理解とご協力の賜物です。開館からの様々な事業に、貴重なお時間と厚いご支援を提供していただき、敬意と御礼を申し上げます。

この五十年の節目に、記念式典を挙行し、皆様と喜びを分かちあう予定でありましたが、コロナ禍の状況を鑑み、規模を縮小して、「菊田公民館五十年の歴史講座」「創立五十周年記念写真展」を開催し「記念誌の発行」といたしました。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

さて、公民館活動の五十年は、時代の移り変わり等、言葉には言い尽くせないことも多く、この歴史をお伝えできる機会を得ましたことは、とても意義深いことであります。

長い年月にわたり、公民館の進展と共に歴史を積み重ね、基盤を築いて下さった地域の皆様方、諸先輩には心から感謝申し上げます。

結びになりますが、地域の話題や関心ごとを、長年、読者目線で分かりやすく、情報発信して下さる、館報編集委員の皆様にお礼申し上げます。

菊田公民館長 小久保 範彰

## 新型コロナウイルスと公民館活動

2019年の年末から新型コロナウイルスの感染拡大が周期的に、あたかも打ち寄せる波のように我々を襲い移動、各種の活動等に大きな制約を受け、公民館の利用停止期間を経て、使用人数の制限、時間制限等多くの制約の中での活動となつてしまいました。

しかし、その中に於いても工夫を重ねながらサークル活動は継続されてきました。令和三年度の市民文化祭は中止になりましたが、名を変えて菊田の杜展示会・発表会」として例年より規模が縮小されたものの力強く開催されました。これは新型コロナウイルスには負けないという人間宣言であつたような気がします。この宣言に恐れをなしたのか最近、感染者が大幅に減少しています。できることならこのまま終息と言う希望的観測が頭をよぎりますが、相手も手ごわいと思います。引き続き感染予防対策を丁寧に実施するしかないでしょう。

令和四年度は皆さんと一緒に安全・安心な市民文化祭を心から楽しみたいと切望しています。皆様のご協力をお願いいたします。

菊田公民館サークル連絡協議会  
会長 荒木 勉

# 創立50周年を迎えて

## ～周年行事報告～

世界を震撼させて2年が過ぎましたが、コロナ感染症は未だ収まりが付きません。

菊田公民館は50周年を迎えましたが、記念行事の式典は取り止めとなり、3事業の開催となりました。

その前に、キックオフイベントとして4月から「館報『銀杏』」にみる50周年記念展」を開催し、長らく公民館利用者に見ていただくことができず、行事の締めとして記念誌発行となります。

感染症の影響などで公民館においでいただけなかった皆様に、報告をお届けします。

### 事業1 菊田公民館50年の歴史

8月27日

講師  
生涯学習相談員 江口 和夫 氏

まだ非常事態宣言下、検温・消毒に、一人ひとりクリア衝立を設置しての開催となりました。

習志野市で一番古い公民館の成り立ちに、参加者は今まで知る事になかった内容に、目を凝らし耳を澄まして熱心に聞き入りました。

26ページに渡る資料には、着工から竣工までの経過報告、例えば建設前の津田沼、公民館周辺の景色の写

真や、天井から足元まで一面ガラス張りの、当時としては斬新なデザインの図面があります。利用者にとつては慣れ親しんだ建物や施設の良さを改めて感じ、公民館の歴史を知る貴重な講演会で、多くの方に聞いて



講演を熱心に聞き入る参加者

ていただきたい講演でした。

色々な資料を読みままとめられた内容は、菊田公民館の歴史だけでなく習志野市の公民館の歴史です。

### 事業2 菊田の杜 展示会・発表会

10月22～24日

昨年引き続き中止になった、毎春秋に開催される文化祭に替わる、参加希望団体・サークルによる展示会・発表会です。

#### 〔展示会〕於展示室

10月22日～24日

- 寿学級…抽象的デザイン作品
- あとろえ菊田…油絵 12点
- 菊彩会…水彩画 14点
- 菊版会…1年遅れで開催された東京五輪やそれぞれの思いを詰めた版画作品 13点
- 春葉句会…色紙や短冊に絵や写真を添えた俳句作品を 21点
- 2年ぶりの作品作り・展示となりました。教室でもなかなか思うように活動が出来なかった分まで、思いつきり表現しました。

#### 〔発表会〕於講堂

菊田詩吟・菊栄会吟詠会 10月23日

50年の歴史あるサークルです。広い講堂に力強い詩吟がひびき渡ります。詩吟は『詩心』を聴く人に



伝えることが大切と三橋吟焯先生のお言葉通り、聞いていると詩歌の情景が彷彿と浮んで来ます。

一人で吟ずるもよし、又合吟で息の合った詩吟もなかなか感動的で味わい深い吟詠でした。

#### 影絵劇団夢屋 10月24日

新作の『長生き村』、『3匹のこぶたのほんとうの話』が演じられました。活動自粛により集まって練習することが難しい中、音声と影絵の動きを合わせるには、特に新しい作品を演じる時は、お互いにタイミングの取り方を試行錯誤しながら作り上げていくとのことでした。

子ども4人を含めて20数人が観劇。特に子どもがいる風景は楽しさが増します。演者も公演を重ねながら次回の公演をより良いものにするよう、感想を大事にしているとのことでした。久し振りの披露に、蓄えた力と、思いを込めた発表となりました。

心ワクワクしながらもちよっと緊張感も伝わってきました。

事業3  
50周年記念写真展

11月24日～12月24日



50年前の津田沼を確認

「菊田公民館50年の歴史」講演会(8月27日開催)資料を拡大展示し、内容に合わせて、公民館行事中心の写真が加わりました。  
古くは、開館した昭和46年の「女性教室」山中湖研修・高尾山ハイキング・「人形劇講座」卒業記念公演の白黒写真です。  
47年の成人講座「短歌入門」「版画入門」・婦人教室「フオークダンス」は今も残るサークルへの入り口として、真剣に学ぶ姿が残っています。59年には版画サークル会員が教える「年賀状の版画講習会」で一生涯命聞く姿も。

「幼児家庭教育学級」「寿学級」の昭和・平成・令和の三時代の変遷を見ることが出来ます。

54年に国際児童年に合わせて始まった「こどもまつり」・平成4年に導入された学校週5日制に合わせて始まった「きげんな休日」など、子ども対象の講座は時代を反映した構成の違いが分かります。「文化祭」・開館25周年記念「大地の子挿絵展」・サークル連絡協議会総会・調理室設置による「給食サービスネットワーク」の調理作業・「森の音楽会」も平成30年には第20回を迎え、初めて参加した子ども達は今は25歳以上となっています。

開館40周年記念式典行事・県知事選挙の投票場として使われた記録・避難訓練・丑未年に開催される「七年祭」講座・市制50周年を記念して作られた「習志野かるた」大会・そのかるたの読み札『お』に描かれた伊藤音次郎の足跡をたどる学習圏会議主催の講座・「学習圏の歩み」展示も。

その年のニュースも、合わせて上に展示され、自分の思い出とも重ねられました。公民館建設までの写真・資料は、初めて目にする方がほとんど。変化の大きさに懐かしさと驚きを覚えた方もいらっしやることでしょう。

モニュメントめぐり(12) WARP



藤崎のかもめ公園にある作品は、石彫家田中康二郎さんの東京芸術大学卒業制作2点のうちの1点です。

この作品は作者が好きな石とおっしゃる黒御影ですが、もう1点は白御影で、武蔵野音楽大学にあるそうです。

田中先生は、東京芸術大学大学院を卒業後非常勤講師を勤め、1983～86年にはドイツ政府給費留学生として南ドイツ(シュツットガルト)の国立美術学校で学ばれました。帰国後は創作活動をしながら文部省(現文部科学省)教科書調査官、2015～19年は東京工芸大学教授を務められました。

「WARP」は反り・ゆがみと訳されます。抽象作品2点目の取材で、なかなか形からのイメージは難しいと

お伝えすると、先生は「空間の動きを感じて題名に使いました。作品はそれを包む空間も一緒に考えています。見る人もそのすべてを感じてほしいです。」と優しく手で作品を包込むようにしながらお話をされました。ただ「かつては作品ごとに題名を付けておりましたが現在は、どの作品も全て『無題』としております。それは観て下さった方々の感覚を大切に頂けたために、『無題』とすることがベストと考えるに至ったからです。」とのことでした。

今はアトリエに住まいも移し、個展・グループ展に加えワークショップを催されています。

ワークショップでは、自分で選んだ原石をひたすら石磨きをします。7段階も砥石を変えて、表面に艶が出るまで水磨きをするそうです。段階ごとの石を手で触ると、目には分からない微妙な違いを感じます。そして「本来の石の色」に出会えるそうです。

すっかりその地に馴染み、石と人との対話を楽しまれているご様子でした。

### 創立50周年の

# 菊田公民館で学ぼう！

令和3年度に開催した主催講座を御紹介します。



- ◇ 幼児家庭教育学級 10月28日～12月9日  
幼児期の心理、心と体の発達、家庭教育の重要性などについて学びました。
- ◇ PTA家庭教育学級(津田沼小・第五中)  
家庭教育の重要性・幼少期の発達課題とその特性、学校・家庭・地域の役割と関り等を学びました。
- ◇ 育児講座 10月29日～11月26日  
乳児の健康や心理等を学びました。
- ◇ 親と子のふれあい講座  
5月13日～6月17日  
2歳児の心と体の発達や、心理・健康・栄養・遊びなどを学びました。
- ◇ 子ども講座(工作・料理)  
『土器つと古代』 宅配便“勾玉(まがたま)づくり』 7月29日  
『かんたん！楽しい☆アイシングクッキー』 12月11日
- ◇ 子ども影絵劇 12月12日  
作品を鑑賞するとともに影絵劇の人形を制作し、出演体験をしました。
- ◇ 人生百年教養講座 6月5日～19日  
『篆刻(てんこく)を楽しもう』
- ◇ 地区学習圏会議研修会 8月27日  
『菊田公民館50年の歴史』
- ◇ 寿学級 4月21日～1月19日  
健康問題・レクリエーション・社会見学等を通じて、親睦を深めながら自立・一般教養の学習を行いました。



地区学習圏会議研修会



育児講座



寿学級(寿まつり)



子ども講座

新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった講座  
森の音楽会・菊田の杜コンサート・菊田かるた大会・健康生き生き講座(やさしいヨガ)・人生百年教養講座(音楽・自己指圧)・子ども講座(科学)

令和4年度開催の講座は、広報・ホームページ・チラシなどで募集いたします。  
皆様の御参加をお待ちしております。

### 新任職員紹介

谷津公民館から参りました。公民館勤務は3ヶ所目です。どうぞよろしく願ひいたします。

小久保 範彰

令和3年4月、谷津公民館より着任いたしました。よろしく願ひいたします。

田久保 光裕

### 編集後記

一人でも多くの方に市内の魅力を知っていただきたく、「モニュメントめぐり」を特集し、連載しています。この度貴重な機会に恵まれ、「WARP」の作者田中康二郎さんを取材することができました。

アトリエに、退官後住居も移された先生と音楽家の奥様が、笑顔で迎えて下さいました。緊張気味の私たちの心をあっといふ間に解きほぐしていただき、楽しい取材となり、リフレッシュしたひと時でした。

先に見える希望を、いつになったら持てるのか・・・。  
これから桜の季節を迎えます。大手を振って散策ができる日を待ち望んでいます。

館報編集委員一同